

ロタウイルス予防接種にかかる 費用の一部助成を開始します！

区は、乳幼児の感染症予防のさらなる推進と保護者の経済的負担を緩和するため、現在、任意接種のため自己負担で行っているロタウイルスの予防接種について、4月1日から、費用の一部助成を開始します。

ロタウイルスは、重症急性胃腸炎の主な原因で、乳幼児期にかかりやすく、感染力が強いため、5歳までにはほぼすべての子どもが感染すると言われています。感染すると、重症の場合、嘔吐・下痢に伴う脱水やけいれん、腎不全、脳炎などの合併症で入院することもあります。5歳までの急性胃腸炎の入院患者のうち、40～50%前後はロタウイルスが原因です。日本国内では、毎年2～18名の死亡例が報告されています。

現在、ロタウイルスに効果のある抗ウイルス剤はありません。そのため、脱水を防ぐための水分補給や体力を消耗しないように栄養を補給することなどが、治療の中心になります。感染を広げず、予防するには、オムツの適切な処理、手洗いの徹底などが必要です。また、日本では、1価（ロタリックス）と5価（ロタテック）の2種類のワクチンが承認されており、乳児を対象に、任意で接種を受けることができます。ワクチンの接種回数と費用は、1価が2回経口接種で1回約12,000円、5価が3回経口接種で1回約8,000円となっています。

区は、これまで新生児の保護者向けに予防接種を説明する冊子を配布し、周知を図ってきましたが、乳幼児の感染症予防をさらに推進し、保護者の経済的負担を緩和するため、住民登録をしている区民を対象に、4月1日から、ロタウイルス予防接種にかかる費用の一部助成を開始します。ロタウイルスの予防接種の一部助成は、渋谷区が実施しており、23区内では2番目です。

■ロタウイルスの予防接種の一部助成

(1) 接種方法

1価ワクチン：生後6週～24週の間4週間以上あけて2回経口接種

5価ワクチン：生後6週～32週の間4週間以上あけて3回経口接種

(2) 助成対象者：ワクチンごとの接種時期に該当し希望する区民

(3) 助成額と助成回数

1価ワクチン：1回につき6,000円(2回まで)

5価ワクチン：1回につき4,000円(3回まで)

(4) 助成対象時期：平成27年4月1日以降に接種したもの

(5) 助成方法：区内契約医療機関に用意してある予診票を使用し、助成額を差し引いた額の接種費用を医療機関の窓口で支払う。

【問い合わせ先】

杉並保健所保健予防課
総務部広報課

TEL：3391-1025

TEL：3312-2111（代表）